

令和元年度市自委第9号協働パイロット事業
「学校における性の多様性の啓発ポスター制作と研修等開催」

報告書

特定非営利活動法人しずおかLGBTQ+

1) 事業内容

- ・事業の目的

性の多様性に関する啓発事業を児童生徒及び教員にそれぞれ実施することで、教育現場での正しい知識の獲得を図り、性的マイノリティへの支援の充実に寄与する。

- ・事業期間

令和元年7月6日から令和2年3月末日

- ・協働先

静岡市教育センター

- ・監修及び研修講師

静岡大学学校における性の多様性研究会

- ・協力

静岡市市民局男女参画・多文化共生課

2) 完了報告

- ・事業概要

- ① 性の多様性に関する啓発ポスター事業

性の多様性に関する啓発ポスターを制作し、市内の小中学校および関連する施設に掲示する。また、次年度に向けてその効果を調査する。

- ② 教員向けeラーニング研修事業

平成30年度3月に実施済みの教員向けeラーニング研修の第二弾として、性の多様性の専門知識を拡充する内容で製作・実施する。

- ③ 教員向け性の多様性の授業づくり研修（事前調査）

基礎的な知識を得た教員に対し、授業づくりに直接関連する研修を行う。今年度は教育センターの年間予定がすでに決定していることから、本事業は次年度に実施する計画とし、今年度は事前調査（試験的な研修の実施）を実施する。

- ・事業内容及び完了報告

- ① 性の多様性に関する啓発ポスター事業

- 1、事前打ち合わせ

7月中旬、教育センターにて実施。特定非営利活動法人しずおかLGBTQ+（以下、法人）から代表理事細川、協働先の教育センターから高橋先生、監修先の静岡大学学校における性の多様性研究会（以下、研究会）から松尾准教授が参加。次のことを協議し確認した。

- ・2年計画の1年目のポスター事業

- ・「多様性」の中の「性の多様性」となる内容
- ・2年目に制作する「知識編」の前段階となる「興味・関心」をひく内容
- ・小1から中3と幅広い年齢層向けのため、表現を年少者に合わせる
- ・ポスターのサイズ
- ・ポスターの納品、各学校への配布方法

2、ポスター案の作成及び意見交換会

事前打ち合わせで確認したことを法人からデザイナーに伝え、ラフ(デザイン案)の完成時に研究会と教育センターに内容を確認。

3、ポスターの制作

他のLGBTイベントのイラストを手掛けているデザイナーに依頼。事業の途中でデザイナーが交代した経緯があり、完成が約2か月程遅くなった。

4、納品、掲示

12月下旬に教育センターに納品(資料1)。年明けの登校時に間に合うよう、配布と各学校への掲示の実施を依頼。ポスター配布時に各学校にアンケート用紙も添付した。

5、効果測定及び意見交換会の実施

2月末にアンケートを回収。アンケートは無記名、任意提出。130校中70校の回答が得られた(資料2)。

アンケートには児童生徒が関心を持つ様子や教員との会話が長く書かれており、好評だったことが分かった。また、次年度に予定している「知識編」への期待も書かれていることから、継続する必要性を感じた。

学校に関しては、今回は「知識編」の前段階として位置付けたものだったことや、性の多様性を児童生徒向けに発信する意義の説明が不十分だったことも分かった。2年目の「知識編」では、アンケートに書かれていたような教員向け勉強会実施の対応やポスターの意義の丁寧な説明を教育センターで実施してもらうよう依頼したい。デザインと知識内容についてもアンケート結果を参考に、配布する枚数を増やしたり、授業で使用できるよう希望校に対しポスターデータを配布することも取り入れたい。

意見交換については、3月15日に静岡市が実施した「性の多様性講演会」のパネルディスカッション(法人も登壇)に寄せられたポスター事業への教育委員会のコメントをもって完了とした。

②教員向けeラーニング研修事業（継続中）

1、事前打ち合わせ

7月中旬、教育センターにて①ポスター事業と同時に同参加事前打ち合わせを実施。次のことを協議し確認した。

- ・前年度のeラーニング研修資料の確認
- ・研修内容の難易度や所要時間
- ・実施時期及び納品時期

2、教材の制作及び納品

教育センターの意向を取り入れ、時間（15分程度）や内容（初級編でイラスト多め）を考慮して制作し10月に納品した（資料3）。

3、eラーニング研修の実施

3月9日から3月27日の期間で実施した。

4、意見交換会

③教員向け性の多様性の授業づくり研修（事前調査）事業

1、チラシ配布

事前に教育センター主催の研修でのチラシ配布や、法人ホームページなどで広報した（資料4）。インターネットを中心に広報や申込み受付をしたが、SNSを含むインターネット使用に慣れていない年代が多かったという意見もあり、広報や申込み方法を検討する必要がある。

2、勉強会開催

- ・令和1年12月22日 13時から16時
- ・性の多様性について基礎的な知識を得た教員を対象
- ・授業づくりで実際に困ったことや悩んだことを持ち寄る（資料5）
- ・今後の教員向け授業づくりの参考にする

10名程度を想定していたが、6名（中学校教諭4名、小学校教諭2名）の参加だった。実際に授業をしている教員や対応をしたことがある教員が揃い、質の高いディスカッションとなった。困りごとを解決することを目的としたワークショップだったため、例えば参考資料の紹介でも実際の問いかけの方法など実際に使用できる具体例などが話し合われた。今回は事前調査としての開催だったが、多人数での研修にも繋がるものになった。

ディスカッションを中心に行い意見交換も行ったため、記述式アンケートは実施しなかった。

3) 資料

(資料1) 完成したポスター



(資料2) ポスター掲示後のアンケート調査の結果

- ・ポスターを配布した静岡市内公立小中学校 130 校
- ・アンケートの回答は、小学校 53 校 (87 校中)、中学校 19 校 (43 校中)
- ・全校に配布したものの実際に掲示した学校数は把握できなかった

学校種		場所			期間		
53	19	28	11	29	43	19	6
小学校	中学校	保健室 (周辺含む)	職員室 (周辺含む)	その他 (教室等)	1月前半	1月後半	それ以降

※小中併設校の回答が1件あり

※静岡市教育委員会所管の学校以外 (国立・私立についてはアンケート依頼なし)

※男女共同参画・多文化共生課の協力により、啓発の一環として、市内の図書館や生涯学習センター等にも配布 (学校以外にはアンケート依頼なし)

印象について	子児童生徒の反応	自由記載
暖かい雰囲気	じっと見ていた	いろんな好きがあっていいというのがぼんやり伝わればいいと思った
親しみやすい印象だった	好きの意味を子どもなりに確認していた	発達段階に応じた学びが必要だと思った
絵がとても良いと思った	眺めている子を見かけて	多様性について学べるようなポスターだと思った
親しみやすい絵柄だった	足を止めてみる児童がいた	教員の理解が足りていないと思った
爽やかな印象だった		興味のない子に対しての啓発をどのようにすすめるか期待している
たくさん書かれていて、じっくり見ないとわからない	しばらく見たり読んだりしないとわからない様子	もっと知りたい子に自由にもらえるリーフレットがあるとよい

※一部抜粋

(資料3) eラーニング研修資料から抜粋 (全23ページ)

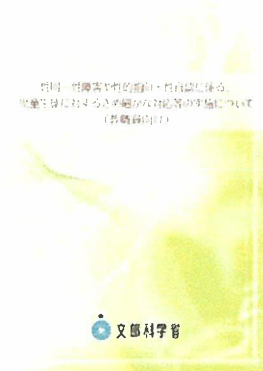
令和1年度静岡市協働パイロット事業
『学校における性の多様性の啓発ポスターづくりと勉強会開催』

学校における 性の多様性への対応と LGBTQについて

静岡市教育委員会 (教育センター)

製作：特定非営利活動法人 しずおかLGBTQ+
監修：静岡大学 学校における性の多様性研究会

学校における
性の多様性への対応と
LGBTQについて



文部科学省では、
平成26年に実態調査を行い、全国に教育相談があったことを把握。
平成27年通知「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施等について」で特有の支援などを通知。
平成28年教員向け周知資料「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施について」を配布。支援やQ&Aを掲載。

LGBT 文科省 通知

日本国内のLGBTQ (性的マイノリティ) 人口は、
様々な調査からおよそ5~9%とされています。

(資料4)

【予告】 「性の多様性」授業づくりワークショップ
「性の多様性」の授業についていっしょに考えませんか？

日時:12月22日(日)13時~16時

内容:

- ・なぜ、「性の多様性」の授業をするのか？
子どもたちにとってどういう意味がある？
- ・教材の紹介
本など参考文献、新聞記事などの素材、出典の書き方 など
- ・ワーク:思わずやってみたくなるような授業をみんなで作ってみる

募集人数:10人(先着順)

参加費:無料

このワークショップは、令和元年度静岡市パイロット事業「学校における性の多様性の啓発ポスターづくりと勉強会開催」の一環として開催される事業です。 お申し込み・お問い合わせはこちらのQRコード(こくチーズ)から→



(資料5)

(資料5)

